

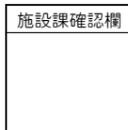
# (仮)東京芸術大学 赤レンガ1号館改修工事

事業者：東京芸術大学 美術学部 杜の会  
東京芸術大学 音楽学部 同声会

2005.08.01

## 契約図

建築・設備設計：東京芸術大学 美術学部 将来計画準備室  
構造設計： 万建築設計事務所



### 図面リスト

#### 共通

- 表紙・図面リスト
- A-01 案内図
- A-02 特記仕様書-1
- A-03 特記仕様書-2
- A-04 特記仕様書-3
- A-05 配置図
- A-06 撤去範囲図1階
- A-07 撤去範囲図2階
- A-08 外部建具現況図（立面図）  
計9枚

#### 建築図

- A-11 改修 床下ピット詳細図
- A-12 改修 1階平面図
- A-13 改修 1階天井伏図
- A-14 改修 2階平面図
- A-15 改修 2階天井伏図
- A-16 改修 小屋裏平面図
- A-17 改修 短手断面図
- A-18 改修 長手断面図
  
- A-21 改修 展開図1階-1
- A-24 改修 展開図2階-1
  
- A-31 改修 建具表
- A-33 改修 什器・造作・器具詳細図
- A-34 改修 外部階段詳細図  
計13枚

#### 構造図

- S-01 耐震補強特記仕様書
- S-02 小屋伏図
- S-03 2階床伏図
- S-04 1階床・ピット床伏図
- S-05 長手断面図
- S-06 居室・コア断面図
- S-07 断面詳細図（1）
- S-08 断面詳細図（2）
- S-09 断面詳細図（3）
- S-10 壁体配筋詳細図
- S-11 部分詳細図（1）
- S-12 部分詳細図（2）  
計12枚

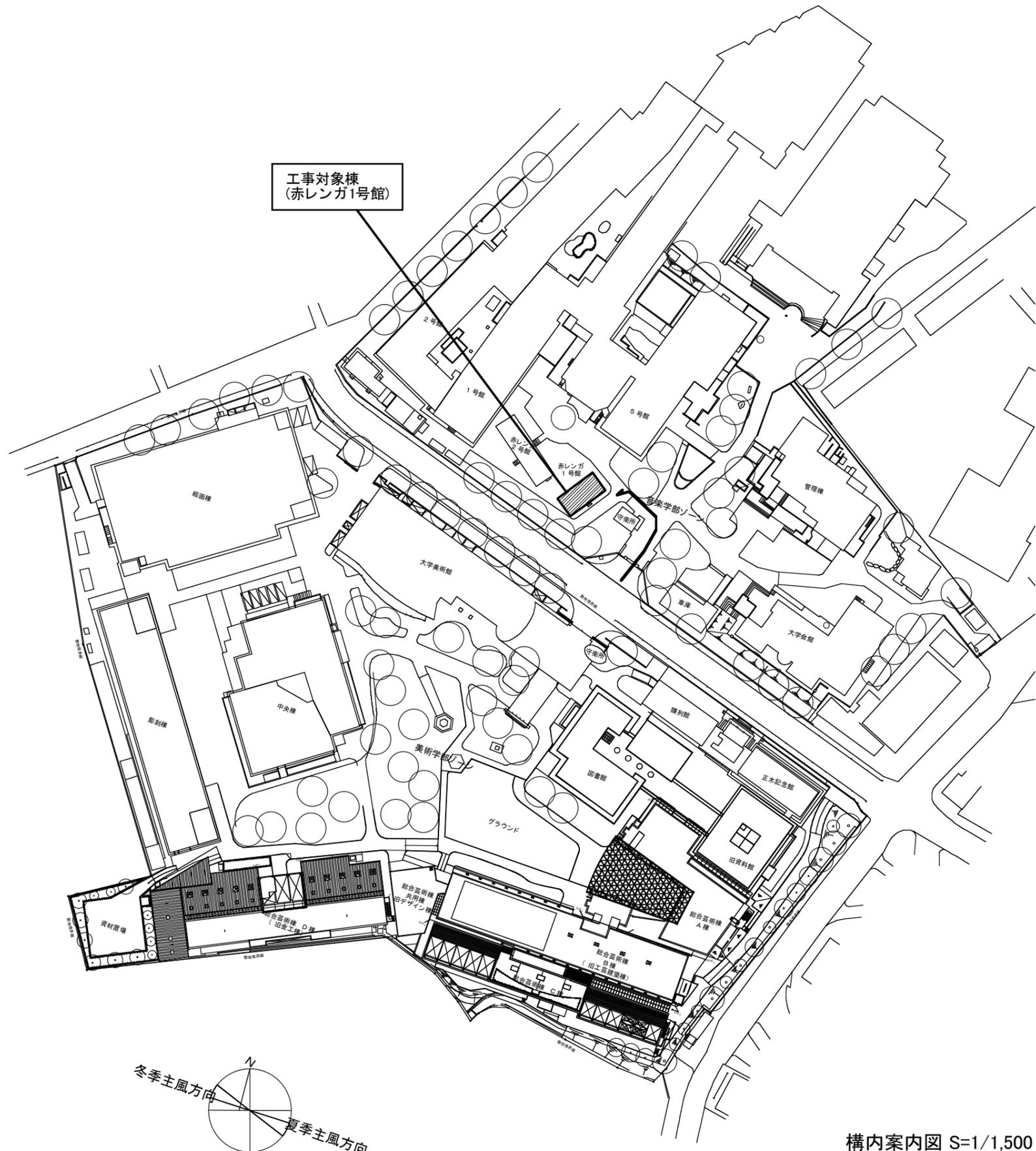
#### 電気設備図

- E-05 電気設備 幹線ルート図
- E-06 電気設備 管理棟地階幹線ルート図
- E-07 弱電設備 引込ルート図
- E-11 電気設備 分電盤一覧表
- E-12 電気設備 照明器具姿図
- E-13 電気設備 ピット平面図
- E-14 電灯設備 1階平面図
- E-15 コンセント・弱電設備 1階平面図
- E-16 電灯設備 2階平面図
- E-17 コンセント・弱電設備 2階平面図
- E-18 電気設備 小屋裏平面図  
計11枚

#### 衛生空調設備図

- M-11 衛生・空調設備 機器表
- M-12 衛生設備 ピット平面図
- M-13 衛生設備 1階平面図
- M-14 衛生設備 2階平面図
- M-15 空調・換気設備 ピット平面図
- M-16 空調・換気設備 1階平面図
- M-17 空調・換気設備 2階平面図
- M-18 空調・換気設備 小屋裏平面図  
計8枚

合計53枚



構内案内図 S=1/1,500

Copyright © 2004,2005 Waka Design Room. All Rights Reserved.

Comments&UpDate History

施設課確認欄	Client/Purchaser	東京芸術大学 美術学部 杜の会 及び 音楽学部 同声会	Job No.	<b>GAR</b>	Date	2005.08.01
	Architect	東京芸術大学 美術学部 将来計画準備室 一級建築士 269493 君塚 和香	Checked by	六角	Scale	1/1500
			Drawn by	君塚	Title	案内図
					Drawing No.	<b>A-01</b>
					Rev./Use	契約図

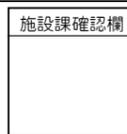
工事特記仕様書		
工事概要		
工事名称	(仮)東京芸術大学 赤レンガ1号館改修工事	
工事位置	東京都台東区上野公園12-8 東京芸術大学音楽学部構内	
竣工期限	平成17年11月30日	
工事の種類 規模等	棟名称	赤レンガ1号館
	工種	模様替
	構造・階数	B2(レンガ組石造 地上2階建)
	建築面積	(93.0 平方メートル)
	延床面積	(186.0 平方メートル)
	改修延床面積	186.0 平方メートル
	修繕模様替内容	耐震改修 内装改修 外部建具改修 電灯設備改修 動力設備改修 構内情報通信網設備改修 構内電話設備改修 テレビ共同受信設備改修 給排水設備改修 ガス設備改修 空調・換気設備改修
( )の数値は、当該既設建物の面積とする。		

項目 一般特記事項	
総則	<p>1. この工事の請負者は、本設計図書一式、 文教施設建築工事標準仕様書、文教施設建築改修工事標準仕様書、 文教施設電気設備工事標準仕様書、文教施設電気設備工事標準図、 文教施設機械設備工事標準仕様書及び文教施設機械設備工事標準図(平成16年版) に基づき工事を施工する。</p> <p>2. 特記仕様書の適用方法 (1) ・印を付した事項は、○印を付した事項のみ適用する。 (2) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱い、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監理者の承諾を受ける。 (3) 左欄の( ),( ),&lt; ,&lt;&lt; &gt;&gt;内の数値は、下記の各該当番号を示す。 ( ) - 公共工事建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編) &lt; &gt; - 公共工事建築改修工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)</p>
建築基準法に基づき定められた区分等	<p>建築基準法に基づき定められた区分等 風速 Vo= 34 m/s 地表面粗度区分 ・I ・II ○III ・IV 積雪区分 建告示第1455号 別表(24)東京都</p>

一般共通事項			
<1.3.3><1.3.4> 電気保安技術者 工事用電力設備 の保安責任者	この工事現場に下記のいずれかの電気保安技術者及び工事用電力設備の保安責任者を選任する。		
項目名	電気保安 技術者	工事用電力 保安責任者	
1 電気事業法による		○	
2 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○	○	
3 1級電気工事施工管理技士以上の資格を有する者	○	○	
4 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○		
5 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○	○	
6 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○	○	
7 第1種電気工事士の資格を有する者	○	○	
8 2級電気工事施工管理技士以上の資格を有する者	○	○	
9 第2種電気工事士(旧電気工事士)以上の資格を有する者	○	○	
10 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	○		

<1.3.5> 施工の条件	<p>この工事現場では、次の施工条件による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根切り時には東京芸術大学埋蔵文化財発掘調査団の立会を要する。</li> <li>・電気工事の方法は以下による <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 電灯設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・照明器具(蛍光灯)はHf型とする。</li> <li>・白熱灯器具の管球はコンパクト型蛍光灯を使用してもよい。</li> </ul> </li> <li>2. 動力設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電灯幹線は管理棟地階変電室より配線するものとする。</li> <li>・GHP用動力幹線は、既設幹線(CV 22Sq-3C)を赤レンガ1号館より振替て接続する。</li> </ul> </li> <li>3. 構内情報通信網設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手元開閉器は鉄箱、防水型とする。</li> <li>・機器収容箱は既設を移設し再用する。</li> <li>・適用規格はエンハンスドカテゴリー6以上とする。</li> </ul> </li> <li>4. 構内電話設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設を移設し再使用する。</li> </ul> </li> <li>5. テレビ共同受信設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽学部3号館地階既設TV機器収容函より引き込む。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
<1.3.8> 発生材の処理等	<p>再生資源化するもの</p> <p>1) 品名：配管類、空調機、その他 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」及び「家電リサイクル法」に基づき適切に処分する。</p> <p>関係法令に従い適切に処理するもの(マニフェストの写し提出)</p> <p>1) 品名：保温材等、冷媒(R22) なお、冷媒は専門業者により回収・破壊処理する。</p> <p>構外搬出適法処分するもの 上記以外のもの</p>	
<1.5.3> 施工の確認及び報告	施工の確認及び報告を行う工程	備考
<1.5.4> 施工の検査	次ぎについて検査を行う。	

<1.6.7> 施工検査等に伴う試験	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定 工事の施工完了後、引き渡しをするまでの間に、下表の測定室等のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。		
測定室等			
棟名称	階	室名	採取本数
赤レンガ1号館	1階	事務室	1検体
	2階	談話室	1検体
※上記の室の内の代表的な1室について、それぞれ1検体につき2回採取を行い測定する。			
測定物質・測定方法			
種類	指針値	測定方法	
ホルムアルデヒド	0.08ppm以下	○ジントロフェニルヒドラジン固相吸着-溶媒抽出 -高速液体クロマトグラフ法	
トルエン	0.07ppm以下	○次の内のいずれかの測定方法とする。 固相吸着-溶媒抽出 -ガスクロマトグラフ質量分析法	
キシレン	0.20ppm以下	固相吸着-加熱脱着 -ガスクロマトグラフ質量分析法 容器採取-ガスクロマトグラフ質量分析法	
試料採取方法 試料採取は室内及び外気の各1箇所を2回づつとし、対象室内を30分換気後に対象室内を5時間以上密閉し、その後概ね30分間採取の濃度(μg/m <sup>3</sup> )で表す。 採取の時刻は揮発性有機化合物濃度の日変動で最大となることが予想される午後2時~3時頃に設定するのが望ましい。 室外についても室内と同様の条件で平行して採取する。 試料採取は室の中央付近の少なくとも壁から1m以上離れた高さ1.2~1.5mの位置を試料採取位置として設定する。 外気の試料採取は外壁及び空調吸排気口から2~5m離れた、室内の測定高さと同等の高さの所を試料採取位置として設定する。			
測定結果が上回った場合の措置 測定結果が厚生労働省の定める指針値を上回った場合は、監理者と協議する。			
<1.6.8> 施工の立会い	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監理者の立会いを受ける。		
<1.8.1> 完成時の提出図書	○根切りの際の地盤状況 ○鉄骨溶接後の超音波探傷試験  ○完成図 ○保全に関する資料		
<1.8.2> 完成図	竣工後提出する完成図等の種類及び提出部数は、監理者の指示による。		
<1.8.3> 保全に関する資料	保全に関する資料 提出部数は監理者の指示による。		



Client/Purchaser	東京芸術大学 美術学部 杜の会 及び 音楽学部 同声会	Job No.	GAR	Date	2005.08.01
Architect	東京芸術大学 美術学部 将来計画準備室 一級建築士 269493 君塚 和香	Checked by	六角	Scale	N/A
		Drawn by	君塚	Title	特記仕様書-1
				Drawing No.	A-02
				Rev./Use	契約図

建築工事			
解体・撤去工事			
撤去の方法	建物内は重機が入らないため、手作業を基本とする。		
撤去の範囲	<input checked="" type="radio"/> 建物内部 中央部 1～2階 床・間仕切壁・天井・階段・便所・倉庫 外壁で壁から水が浸入して下地が浮いている部分とその周辺30cm程度の範囲のモルタル。 内部木製建具 1階床 (根太残し) 1階天井 (下地とも) 2階床 (根太残し) 2階天井 (下地とも) 照明・エアコン・ガス配管・給水管・排水管・分電盤・電力メーター、電気配線 但し、照明については、旧資料館2階改修工事で流用するため、解体に先立ち事前に取外しのこと。 1階什器設備 2階什器設備(キッチン・グラス用吊り棚) 但しグラス用吊り棚は再利用するため、養生のうえ保管のこと。保管場所については別途打合せによる。 小屋裏内テレビアンテナ <input checked="" type="radio"/> 建物外部 鉄製雨戸・縦格子・付随する金物。 丁番及びレンガ取合いの枠は残す。 1階北東妻側窓開口内のレンガ壁2カ所 <input checked="" type="radio"/> 外構 樹木 南東面:中高木1本 北西面:中高木3本 切り株の処理については、現場打合せで決定する。 灌木 北東面は一部残し 下草 全周 土砂鋤き取り その他特記なき限り設計図書による。		
取り合い 注意事項	外壁木サッシ(上げ下げ窓)は特に養生に注意の事。 外壁レンガ壁については極力手を加えない現状維持とする。		
仮設工事			
保護設備	主な搬入出口となる出入口及び窓については、サッシ・レンガ壁等に損傷を与えない様にすること。		
足場計画の提出	外壁仮設足場の計画を提出、監理者の承諾を受ける事。		
障害物の処理	工事前、撤去・移設を要する軽微なものは本工事の範囲とする。		
設計GL	1階主出入口の沓摺石の天端を設計GL=1階仕上FL(FFL)とし、本工事の基準高さとする。		
土工事			
根伐り	杭地業を行わないため、根伐りの床付け状態(深さ・床さらい等)について、構造監理者の承諾を得ること。		
<3.2.3> 埋戻し及び盛土	種別	<input checked="" type="radio"/> B種	
<3.2.5> 建設発生土処分	<input checked="" type="radio"/> 構外搬出適切処分		
地業工事			
	別頁、耐震補強特記仕様書による。		
鉄筋 工事			
<8.2.1> 鉄筋	種類の記号	種類の記号	適用箇所
	<input checked="" type="radio"/> SD295A	D10～16	
	別頁、耐震補強特記仕様書による。		

建具工事			
外部建具	鉄製雨戸の取外し・修復・再現・取付け・調整については、本工事と工程を良く調整し、お互いに円滑に工事が進められる様にすること。 共通仮設の使用を許可すること。(1階13カ所、2階12カ所 計25カ所) 鋼製雨戸の工事の境界線は、雨戸枠とレンガの取合い部とし、隙間埋めについては本体工事の範囲とする。また、縦格子については鋼製雨戸の工事の範囲とする。  玄関 既存塗装をケレン及びペーパーで下地調整し、塗装仕上。鍵取り替え、丁番調整のこと 新設木製上げ下げ窓 既存部分のサッシを良く調査し、再現すること。  各サッシのがたつきを補修し、隙間をモヘアや毛テープ等で塞ぐ。 既存塗装をケレン及びペーパーで下地調整し、塗装仕上。鍵取り替え、丁番調整のこと また、網戸を設置する。(1階12カ所、2階12カ所 計24カ所)		
内部建具	鍵 マスターキーを作成すること。		
コンクリート 工事			
品質	適用	種類	普通コンクリート
	適用箇所		
	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )		21
	スラブ(cm)		18
	軽量コンクリートの 気乾単位容重量(kg/m <sup>3</sup> )		
打ち放し仕上	型枠ジョイント部は桧木を使用。入り隅はトメ加工。出隅は正方形断面の面木を入れる。 コンクリート打設のオープンタイムを極力短くし、昼食時間も中断をせずに継続して素早く確実に打設の事。やむなくオープンタイムが長くなった場合には、打継ぎ面に入念にパイプレータ掛けを行い、コールドジョイントを作らないこと。		
型枠	耐圧版、ビット立上がり、1階スラブ、2階スラブは普通型枠合板t12mmとする。 また、仕上として見えてくる部分(壁・上げ裏)については、杉小幅板120mm程度を「うづくり」仕上し、剥離材を塗った上、型枠として用い、型枠の転用はしない。		
試験	コンクリートの圧縮強度試験は公認の第三者試験機関において行う事。		
その他	別頁、耐震補強特記仕様書による。		
鉄骨工事			
<8.1.5> 鉄骨製作工場	工場性能評価グレード R 以上の工場 施工管理技術者 <input checked="" type="radio"/> 適用する		
<8.2.7> 鋼材	種別	材質	備考
	<input checked="" type="radio"/> 平鋼	SN400B	規格品
	<input checked="" type="radio"/> 形鋼(H形)	SN400B	規格品
	<input checked="" type="radio"/> 形鋼(その他)	SN400B	規格品
	<input checked="" type="radio"/> 鋼板(中・厚)	SN400B	規格品
	<input checked="" type="radio"/> 鋼板(薄)	SN400B	規格品
	<input checked="" type="radio"/> 鋼管(その他)	STK400	規格品
塗装	錆び止め塗料はJIS K 5623～5625の規格品のいずれかとする。		
その他	別頁、耐震補強特記仕様書による。		
木工事			
合板	1階床及び2階床下地として、既存床に重ね張り。耐水構造用合板 F☆☆☆☆以上 t12 必要に応じて、根太等で不陸調整すること。		

防湿・防水工事	
ビット部分	<input checked="" type="radio"/> 耐圧板下より連続して地盤表面までポリエチレンフィルム0.2mm敷き込み。 重ね部分はプチルゴムテープにて止水処理。 <input checked="" type="radio"/> コンクリート打継ぎ面に帯状の弾性止水部材打込み。
レンガ部分	<input checked="" type="radio"/> モルタル目地に浸透性防水塗料を塗布。大きな空隙はエポキシ樹脂充填。
シーリング工事	
材料	ポリサルファイドシーリング 外部 <input checked="" type="radio"/> 15×15 木建具周囲(レンガ取合い部) 内部 <input checked="" type="radio"/> 最大30×15 コンクリート打継ぎ目地、コンクリートとレンガ、及び鉄骨とコンクリート取合い部
屋根及び樋工事	
現況の把握と 処置	屋根瓦のずれ・ゆがみ・がたつきを調査し、不具合があれば是正のこと。
雨漏りの調査	雨漏りがあるかどうか調査し、不具合があれば修理する。
樋の調整	樋の水の流れをチェックし、問題があれば調整する。また、南西角近くの銅板製樋カバーがめくれているので修理する。
金属工事	
調査等	新設木製サッシに付随する銅板板金については、他の既存部を良く調査し、再現すること。
壁下地材料	LGS下地材を基本とする。必要に応じて二次鉄骨の補強を入れる事。
左官工事	
仕上	特記無き限り、金コテおさえとする。
塗装工事	
材料	全てF☆☆☆☆以上とする。
見本の提出 ・承認	全ての部分に付いて、塗装見本を2枚提出し、監理者の承諾後に施工すること。 承認後の手板見本のうち1枚は施工者において竣工引渡まで保存すること。
色指定の体系	日塗工見本帳および、日本色彩研究所見本帳による指定を基本とする。
内装工事-断熱	
各部分の材料	屋根 全面垂木間にグラスウール100kg/m <sup>2</sup> t60 充填 2階床 1階天井裏に吸音材を兼ねてグラスウール100kg/m <sup>2</sup> t100 1階床 既存床下に根太ころがし、その間をスタイロフォームt35敷き込み。 (特定フロンを含まない物とする)
内装工事-一般	
各部分の材料	面材、接着剤、木質系材料等は F☆☆☆☆以上とする。 下地材 <input checked="" type="radio"/> プラスターボード ……吉野石膏KK 他 天井 t9.5以上 壁 t12.5以上 天井材 <input checked="" type="radio"/> 岩綿吸音板 ……大建工業、日東紡 他 厚9×300×600(平板) 壁材 <input checked="" type="radio"/> ビニルクロス ……リリカラKK、サンゲツKK 普及品(防汚加工) 床材 <input checked="" type="radio"/> 長尺シート ……タジマ、東リ 他 ビニル系床材 発泡層のないもの 厚2.5 耐水性を有する物とし、継ぎ目は溶接のこと。 <input checked="" type="radio"/> フローリング ……住建産業等 サクラ文教用塗装品直張り可能品 厚15×75×900 <input checked="" type="radio"/> ゴムシート ……タジマ等 外部スロープ用滑り止め溝引き加工品 厚5程度
石膏系その他の ボード張り	水まわりには耐水性を有するものを使用すること。
間仕切壁・ 天井等 下地	LGS下地とする。間柱・M/バー間隔は455程度を基本とする。



Client/Purchaser	東京芸術大学 美術学部 杜の会 及び 音楽学部 同声会
Architect	東京芸術大学 美術学部 将来計画準備室 一級建築士 269493 君塚 和香

Job No.	GAR
Checked by	六角
Drawn by	君塚

Subject	東京芸術大学 (仮称)赤レンガ1号館改修工事
Title	特記仕様書-2

Date	2005.08.01
Scale	N/A
Drawing No.	A-03
Rev./Use	契約図

機械設備工事

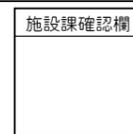
現場説明事項

III. 共通事項	
1. 総合調整 (改修仕様書 第2編1.3.2)	下記の項目について総合調整を行い測定表を提出する。 ○ 風量調整及び測定：各換気設備吸込口及びGHP-1-2系統制気口 ○ 室内外空気の温度測定：事務室A・B及び談話室A・B、屋外
3. 保温・塗装 防錆工事	保温仕様は下記によるものとし、下記以外のは標準仕様書による。 ○ 口径38.10mm以下の冷媒管に、冷媒用被覆断熱銅管を用いる場合は、保温材厚さは液管で10mm、ガス管で20mmとする。 ただし、液管に使用する口径9.52mm以下の配管については、保温材厚さを8mmとしてもよい。 ○ 保温外装は屋内露出で原紙と綿布、天井内で原紙付ALGC、1階床下及びU字溝内は着色ALGCを施すこととする。また、屋外はステンレス鋼板ラッキング仕上げとする。
3.1 保温工事 (改修仕様書 第2編第3章1節)	
4. 電気工事	
4.1 配管配線	ケーブルはエコケーブルを使用すること。
IV. 空調設備	
1. 一般事項等	1) 外気及び室内の設計温湿度条件は下記による。 外気条件：(夏季) DB 33.4℃ RH 58% (冬季) DB 0.8℃ RH 35% 室内条件：(夏季) DB 26.0℃ RH 成行 (冬季) DB 20.0℃ RH 成行 ただし、室内条件は空調機設置室にのみ適用する。  2) その他、詳細は標準仕様書又は図示による。
V. 給排水衛生 設備	
1. 一般事項等	1) 給排水工事の種類は、給水設備(市水)、給湯設備(局所式)、屋内排水設備(汚水、雑排水)、屋外排水設備(汚水、雑排水)、排水放流先は公共下水道とする。  2) その他、詳細は標準仕様書又は図示による。
VI. ガス設備	
1. 一般事項等	1) ガスの種別は都市ガス(13A 46.0MJ)とし、配管材料等はガス事業者の仕様による。

施工に関する 事項													
1. 工事用地	使用にあたっては「工事用地使用許可願」を監理者に提出して、東京芸術大学等の承諾を得ること。ただし、工事用地の借料は無償とする。												
2. 仮設物の 設置等	1. 仮設建物等 仮設建物等を設置するときは、「仮設物設置許可願」を監理者に提出して東京芸術大学等の承諾を得ること。 2. 障害物の撤去又は移設 障害物の撤去又は移設をするときは、監理者の指示により行うこと。  3. 仮設物の維持管理等 仮設物は、施工、監督及び検査に便利かつ安全な材料構造でかつ関係法規に準拠して設置するものとし、常に維持保全に注意すること。												
3. 工事用電力等	1. 工事用電力、電話、給水、排水等は請負者において手続きの上設置し、その費用及び使用料は請負者の負担とする。  2. 工事に際して、学内の上水道、下水道施設を使用するときは「上(下)水道使用願」を監理者に提出して、東京芸術大学等の承諾を得ること。												
4. 工事写真等	工事写真等は、文部科学省が定めた「工事記録写真撮影要領」により撮影し、次表のものを提出すること。  <table border="1" data-bbox="1279 764 1846 942"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>大きさ</th> <th>種類</th> <th>組</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事写真</td> <td>サービス判</td> <td>カラー</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>完成写真</td> <td>キャビネ判</td> <td>カラー 白黒(セット) (ネガ共提出)</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> ※ 工事用写真は、デジタルカメラ2560×1920ピクセル以上の解像度で撮影、日付で階層構造で整理、最終提出はCD-Rに納めて2枚提出のこと。写真ファイル名と内容を含んだインデックスシートを作成、CD-Rにテキストファイルで納める事。(ファイル名の例：20050707_001.jpg) ※ 完成写真はファイルし、表紙に工事名、工期を記入し、撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付すること。	区分	大きさ	種類	組	工事写真	サービス判	カラー	1	完成写真	キャビネ判	カラー 白黒(セット) (ネガ共提出)	3
区分	大きさ	種類	組										
工事写真	サービス判	カラー	1										
完成写真	キャビネ判	カラー 白黒(セット) (ネガ共提出)	3										
5. 鍵	鍵は、各組(一組は同一鍵3本)毎に鍵札(アクリル製)を付け、キーブラン及び鍵リストを添えて鍵箱(鍵掛け付き)に納めて提出すること。												
6. その他	騒音について 通常授業を隣接する校舎で行っているため、騒音を発生する工程については、事前に日程等の調整が必要。特に音楽学部大学院入試試験が9月末に執り行われるため、細心の注意が必要。日程等については、当大学施設課他関係部署との調整となる。  工事作業時間 08:00～18:00を基本とし、工程上時間延長等の必要が在ればその都度大学関係部署との調整により作業時間を決定する。  工事動線 音楽学部正門を利用。正門柱はレンガ造のため、工事車両の振動に対して弱い可能性がある。車両の速度を時速8km/h以下の最徐行にて通過のこと。 また、大学院試験期間中は部外者の立ち入りを制限するため、あらかじめ作業員名簿を作成し、監理者に提出すること。加えて工事関係者である旨をいつでも提示できるようにすること。												

空白

空白

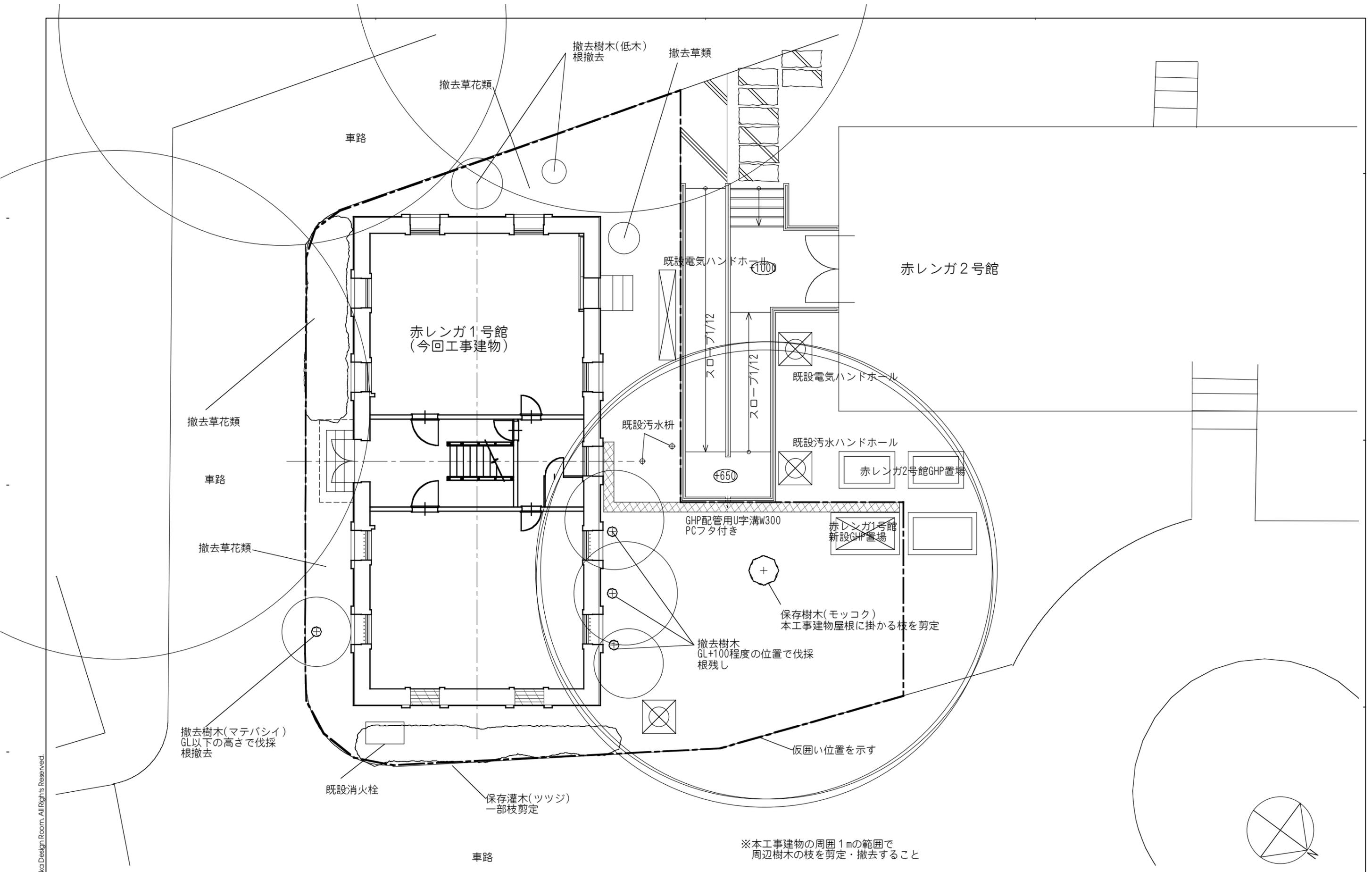


Client/Purchaser	東京芸術大学 美術学部 杜の会 及び 音楽学部 同声会
Architect	東京芸術大学 美術学部 将来計画準備室 一級建築士 269493 君塚 和香

Job No.	<b>GAR</b>
Checked by	六角
Drawn by	君塚

Subject	東京芸術大学 (仮称)赤レンガ1号館改修工事
Title	特記仕様書-3

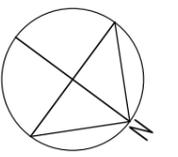
Date	2005.08.01
Scale	N/A
Drawing No.	<b>A-04</b>
Rev./Use	契約図

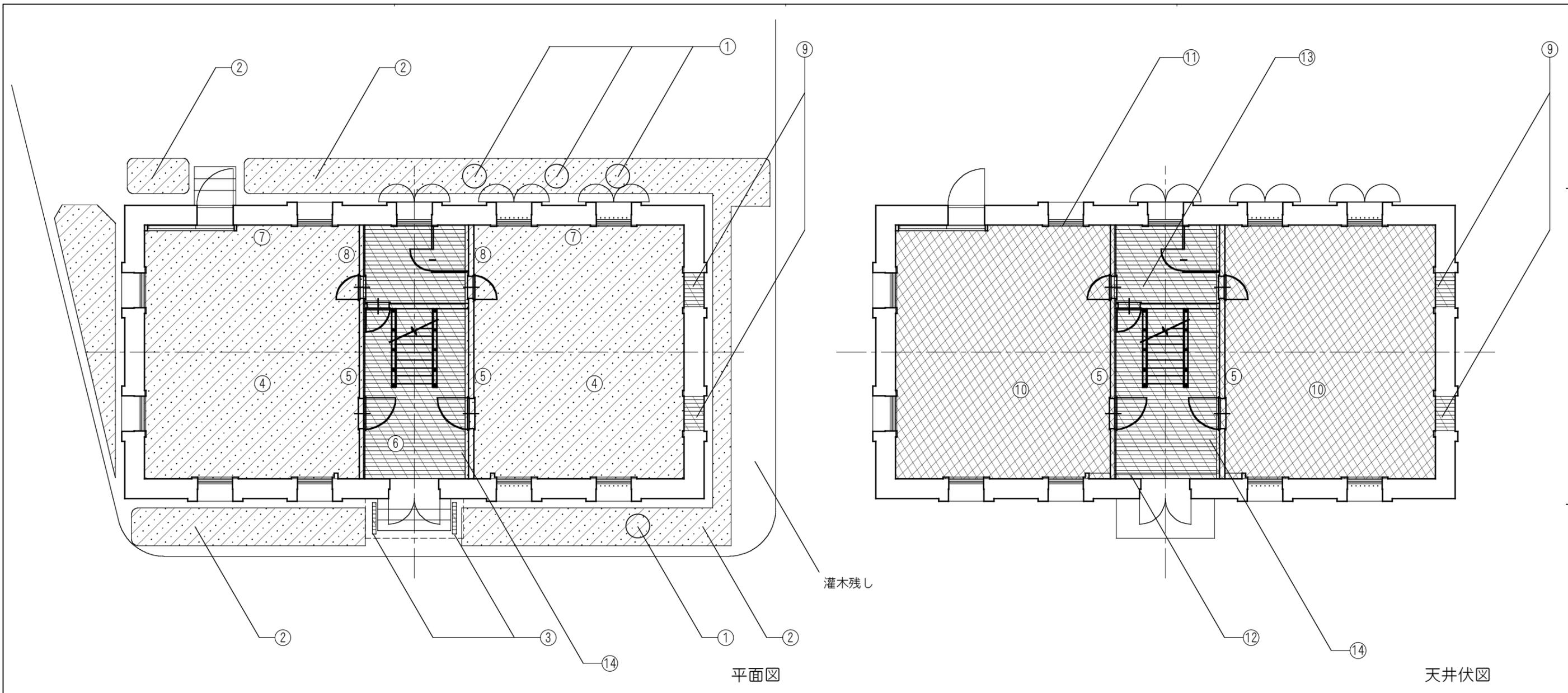


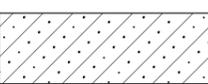
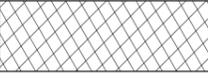
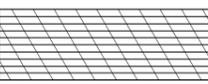
Copyright © 2004, 2005 Waka Design Room. All Rights Reserved.

Comments&UpDate History

施設課確認欄	Client/Purchaser	東京芸術大学 美術学部 杜の会 及び 音楽学部 同声会	Job No.	<b>GAR</b>	Date	2005.08.01
	Architect	東京芸術大学 美術学部 将来計画準備室 一級建築士 269493 君塚 和香	Checked by	六角	Scale	1/100
			Drawn by	君塚	Title	<b>配置図</b>
					Rev./Use	契約図

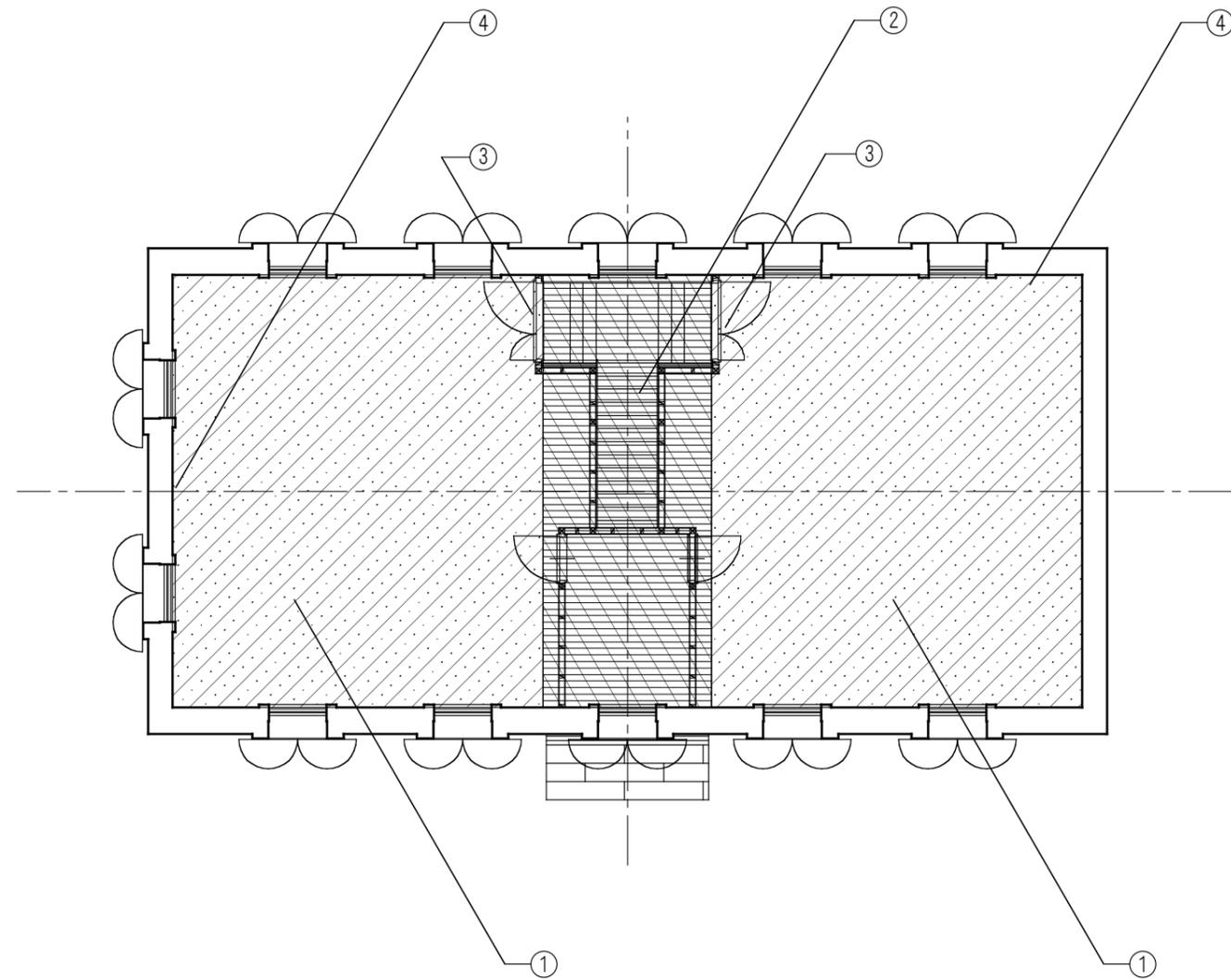




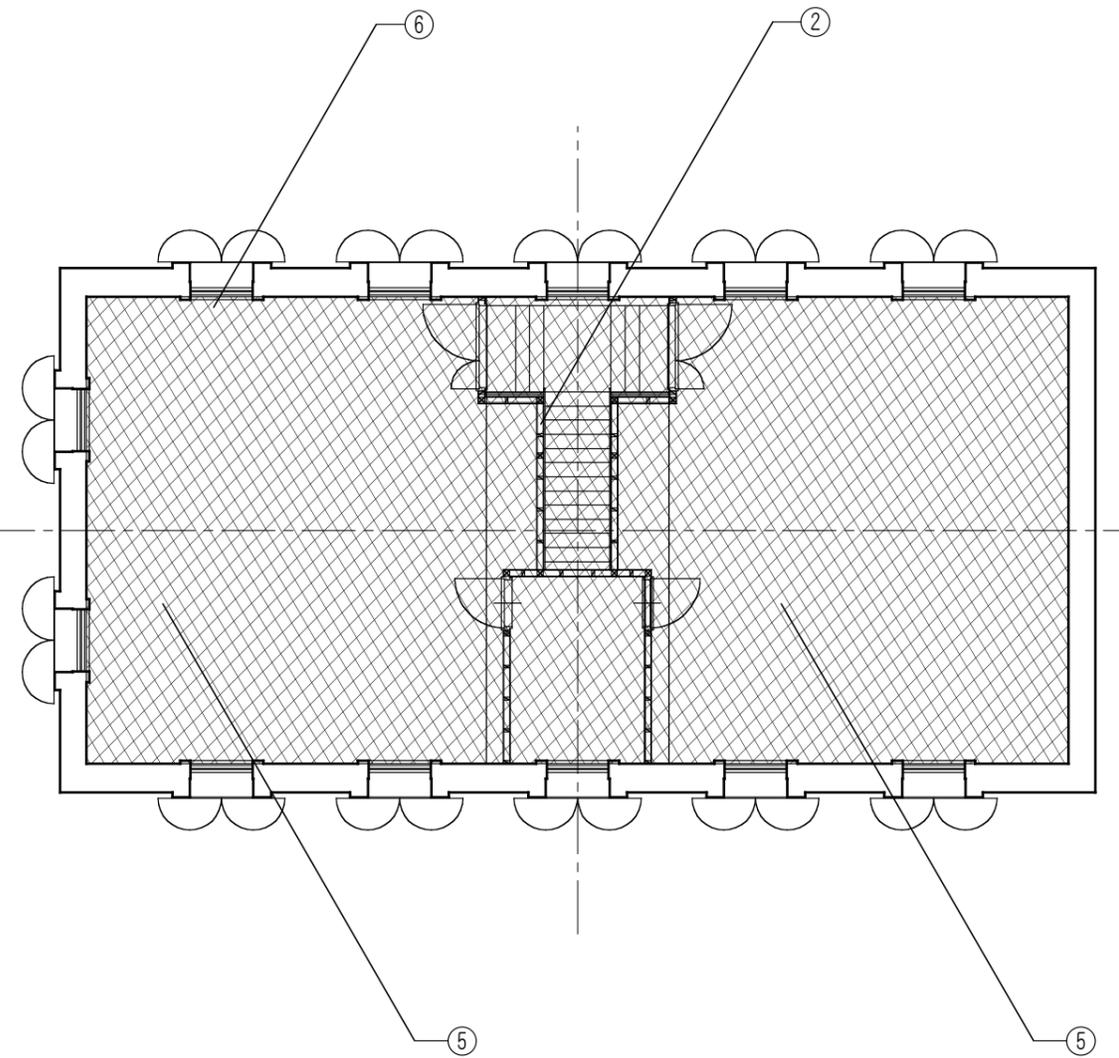
撤去凡例	撤去項目	
 仕上のみ撤去	① 立ち木伐採撤去+周辺樹木枝先剪定	⑨ レンガ壁撤去。
 下地材まで撤去	② 下草撤去、雑物撤去	⑩ 天井下地とも撤去。構造材現し。照明は取外し保管。
 構造含む一式撤去	③ 玄関横木製手摺撤去	⑪ 各窓カーテンレール、廻り縁撤去
	④ 床仕上材撤去/下地面材現し	⑫ 木製鴨居撤去
	⑤ 間仕切・建具・造作撤去	⑬ 天井仕上・下地・木構造とも撤去。
	⑥ 床仕上・根太・大引・土台・基礎撤去、雑物撤去	⑭ 光ケーブル引き込み盤取外し、移設のため保管。
	⑦ エアコン撤去	その他 電線・給排水管・換気扇等撤去
	⑧ 什器設備撤去	その他 木製幅木は残す

Copyright © 2004, 2005 Waka Design Room. All Rights Reserved.

Comments&UpDate History	施設課確認欄	Client/Purchaser	東京芸術大学 美術学部 杜の会 及び 音楽学部 同声会	Job No.	GAR	Date	2005.08.01
		Architect	東京芸術大学 美術学部 将来計画準備室 一級建築士 269493 君塚 和香	Checked by	六角	Scale	1/100
				Drawn by	君塚	Title	撤去範囲図 1階
				Rev./Use	契約図	Drawing No.	A-06



平面図

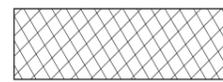


天井伏図

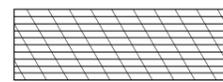
撤去凡例



仕上のみ撤去



下地材まで撤去

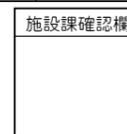


構造含む一式撤去

撤去項目

①	床仕上材(長尺塩ビシート及びカーペット)撤去				
②	間仕切・階段・建具・木構造梁間の床・什器一式撤去				
③	間仕切・建具撤去				
④	A/C撤去				
⑤	天井下地とも撤去。小屋裏木構造材現し。照明は取外し保管。				
⑥	各窓カーテンレール、廻り縁撤去				
その他	電線・給排水管・換気扇等撤去				
その他	木製幅木は残す				

Comments&UpDate History

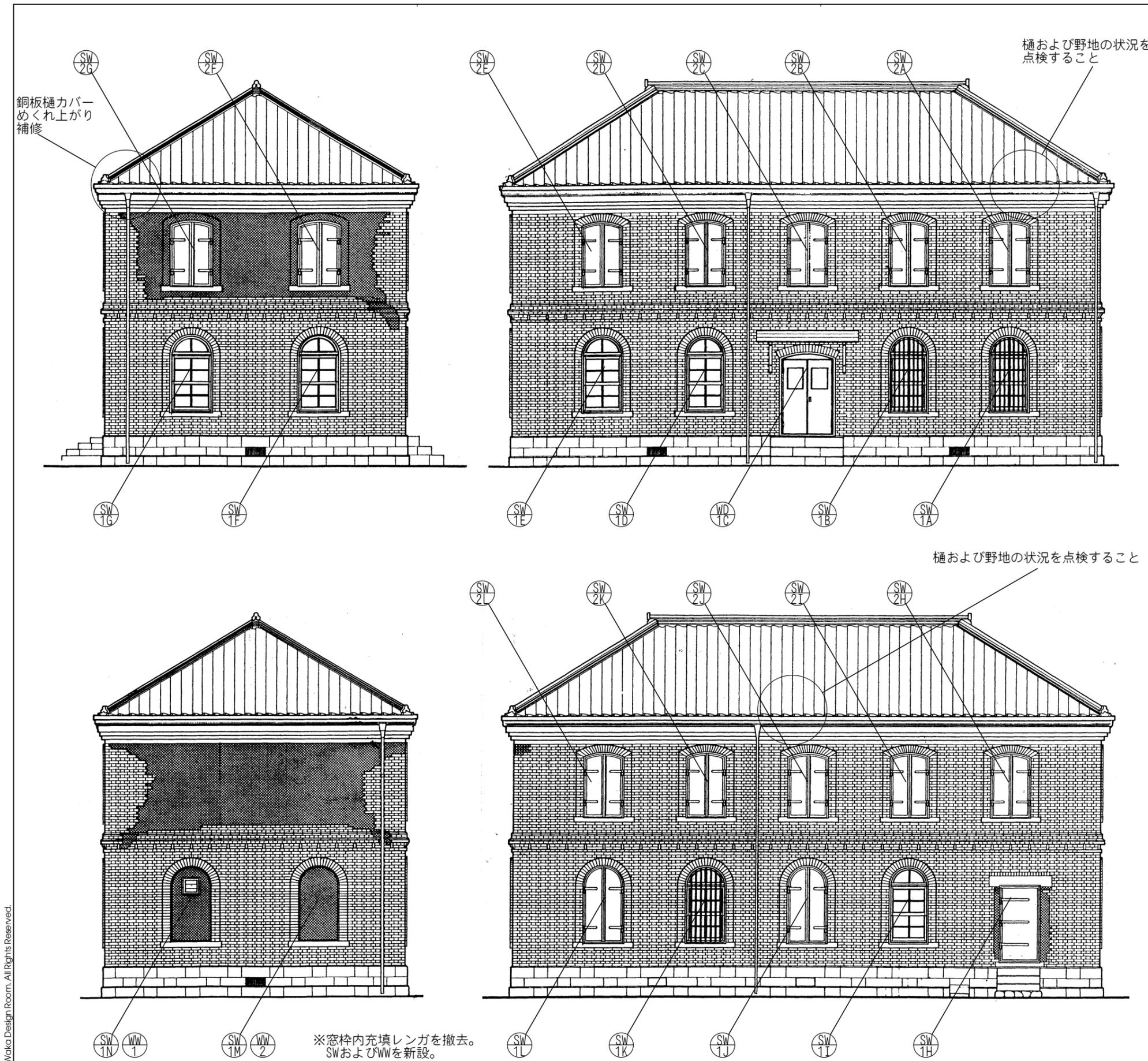


Client/Purchaser 東京芸術大学  
美術学部 杜の会 及び 音楽学部 同声会  
Architect 東京芸術大学 美術学部 将来計画準備室  
一級建築士 269493 君塚 和香

Job No. GAR  
Checked by 六角  
Drawn by 君塚

Subject 東京芸術大学  
(仮称)赤レンガ1号館改修工事  
Title 撤去範囲図 2階  
Rev./Use 契約図

Date 2005.08.01  
Scale 1/100  
Drawing No. A-07



外部建具(鉄扉雨戸等) 現況一覧表  
 評価:  
 欠落×---新規製作 優○---現場にてケレン掛け、SOP再塗装  
 良●-----取外し廃棄し新規製作

階	No.	扉	取付枠	丁番	あおり止め金物	縦格子	状況
1階	SW-1A	×	○	×	×	○	
	SW-13枚	×	○	×	×	○	
	WD-1枚	○	○	○	○		
	SW-1D	×	○	×	○	×	
	1E	×	○	×	×	×	
	1F	×	○	×	×	×	
	1G	×	○	×	○	×	
	1H	○	○	○			
	1I	×	○	×	×	×	
	1J	●	○	○	×	×	
	1K	×	○	×	×	○	
	1L	●	○	○	○	○	
	1M	×	×	×	×	×	WWも新規製作
	1N	×	×	×	×	×	WWも新規製作
2階	SW-2A	●	○	○	×		
	SW-12枚	●	○	○	○		
	2C	●	○	○	×		
	2D	●	○	○	○		
	2E	●	○	○	○		
	2F	●	○	○	×		
	2G	●	○	○	○		
	2H	●	○	○	○		
	2I	●	○	○	○		
	2J	●	○	○	○		
	2K	●	○	○	○		
	2L	●	○	○	○		

Copyright © 2004, 2005 Waka Design Room. All Rights Reserved.

Comments&UpDate History

※窓枠内充填レンガを撤去。  
SWおよびWWを新設。

施設課確認欄	Client/Purchaser	東京芸術大学 美術学部 杜の会 及び 音楽学部 同声会	Job No.	GAR	Date	2005.08.01
	Architect	東京芸術大学 美術学部 将来計画準備室 一級建築士 269493 君塚 和香	Checked by	六角	Scale	1/100
			Drawn by	君塚	Title	外部建具現況図 (立面図)
					Drawing No.	A-08
					Rev./Use	契約図